

2024年2月8日

各 位

会社名 前澤化成工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 久保 淳一
(コード番号 7925 東証プライム市場)
問合せ先 取締役兼上席執行役員管理本部長
齋藤 巖
(TEL : 03-5962-0711)

CDP 2023「気候変動」において【B】スコアに認定

前澤化成工業株式会社(本社:東京都中央区)(以下「当社」)は、CDP が公表した「気候変動レポート 2023」において、マネジメントレベル【B】スコアに認定されました。CDP は世界有数の環境情報開示プラットフォームを運営する非営利団体です。

詳細は下記のとおりとなります。

記

1. 当社の CDP スコアについて

【B】スコア(マネジメントレベル)とは、8段階(A、A-、B、B-、C、C-、D、D-)評価のうち、上位から3番目「自社の環境リスクや影響について把握し、行動している。」と評価されたことを示すものです。

CDP 質問書に対する当社の回答の詳細につきましては、下記 CDP 公式のウェブサイトをご参照ください。

・CDP ウェブサイト URL

<https://www.cdp.net/ja/responses>



当社の開示データは CDP が有する世界で最も包括的な、企業自身が開示した環境情報のデータベースの一部となり、多くのステークホルダーの意思決定に広く活用されることとなります。

2. CDP 質問書への回答の理由

当社は、「人々をゆたかにする心と技術をはぐくみ、社会のために幸せを創造する」を経営理念とし、スローガンに「人、水、環境の未来へ」を掲げております。

2021年5月13日に公表した中期経営計画「Look Forward 2023」においては、基本戦略の1つとして「ESGを意識した取り組み」を掲げ、2023年3月30日には、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同を行うなど、社会課題に対する取り組みを推進するとともに、サステナブルな社会の実現に向けた歩みを進めております。

事業プロセスにおける環境負荷低減活動はもちろんのこと、気候変動への対応を含め環境問題への取り組みを一層充実させ、TCFD提言に基づいた情報開示を継続的に強化することで企業価値の向上に努めてまいります。CDP質問書への回答も、その一環であり、非常に重要な要素の一つであると考えております。

3. 今後の見通し

当社は、気候変動への対応を重要な経営課題と認識しており、今後も継続的に取り組んでまいります。取り組みの状況につきましては、当社コーポレートサイトや、CDP質問書への回答などを通じて積極的に情報開示を行い、サプライチェーン全体の温室効果ガス排出量の削減や、社会全体のカーボンニュートラルに貢献してまいります。

当社コーポレートサイト

- ・中期経営計画「Look Forward 2023」

<https://www.maezawa-k.co.jp/corporate/ir/management/backnumber/>

- ・TCFD提言に基づく情報開示

<https://www.maezawa-k.co.jp/corporate/csr/>

※CDP（Carbon Disclosure Project）について

CDPは、企業や自治体の環境情報開示のための世界的なシステムを有する国際的な非営利団体です。2000年の設立以来、CDPは資本市場と企業の購買力を活用することで、企業が環境への影響を開示し、温室効果ガスを削減し、水資源や森林を保護することを促進する取り組みを先導しています。

2023年、CDPを通して情報開示を行った企業は、全世界で23,000社を超え、そのうち日本企業は約2,000社となっています。

以上